

平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月27日

上場会社名 GMOリサーチ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3695 URL https://gmo-research.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)細川 慎一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 経営管理本部長 (氏名)澤田 裕介 (TEL) 03(5962)0037
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績 (平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	1,628	5.3	206	52.6	196	82.0	128	110.4
28年12月期第2四半期	1,546	21.8	135	202.6	108	167.9	61	213.7

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 125百万円 (188.1%) 28年12月期第2四半期 43百万円 (86.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	77.60	77.35
28年12月期第2四半期	36.92	36.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	1,992	1,236	62.1
28年12月期	1,971	1,149	58.3

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 1,236百万円 28年12月期 1,149百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	0.00	0.00	0.00	23.50	23.50
29年12月期	0.00	0.00			
29年12月期(予想)			0.00	54.70	54.70

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,490	12.9	325	13.7	305	9.2	181	133.2	109.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期2Q	1,677,000株	28年12月期	1,677,000株
29年12月期2Q	22,280株	28年12月期	22,280株
29年12月期2Q	1,654,720株	28年12月期2Q	1,652,898株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続の実施中であり、

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その妥当性を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因に大きく異なる可能性があります。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成29年7月27日(木)にアナリスト向けの説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、当日使用する決算説明会資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いており、堅調な雇用・所得情勢を受けて、個人消費も緩やかに回復しております。今後も、IT産業を中心とした輸出の回復や公共投資の増加、個人消費の底堅い推移などにより、緩やかな回復が続くと見込まれます。

このような状況の中、当社グループは国内顧客に関しては、DIY型リサーチシステムである当社プラットフォーム（GMO Market Observer）の機能強化およびサービス体制強化により国内市場シェアの拡大に努めてまいりました。一方海外顧客に関しては、社内管理ツールの導入、研修体制の充実および人員拡充等により、営業体制、顧客対応を強化し、売上拡大に努めてまいりました。また、パネル供給に関しては、AsiaCloudPanelを強化し、成長を続けるアジア全体のリサーチビジネス機会の最大化を行うべく、パネル提携媒体の新規開拓体制の拡充、自社パネル媒体のリニューアルおよびパネル強化のための広告等、積極的な事業活動を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,628,282千円（前年同期比5.3%増）、営業利益は206,566千円（前年同期比52.6%増）、経常利益は196,794千円（前年同期比82.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は128,410千円（前年同期比110.4%増）となりました。

事業のサービス別の売上高については、以下の通りです。

①アウトソーシングサービス

アウトソーシングサービスは、近年調査会社業界からの需要が拡大傾向にあるアンケート作成からローデータ・集計までのサービスを一括で受託するサービスです。当第2四半期連結累計期間においては、調査会社からの引き合いが好調に推移し、当サービスの売上高は、1,298,771千円（前年同期比9.2%増）となりました。

②D. I. Yサービス

D. I. Yサービスは、当社が独自に開発したリサーチ・ソリューション・プラットフォーム（GMO Market Observer）を利用して、顧客自身がアンケート作成から集計までを行うサービスです。当第2四半期連結累計期間においては、当サービスの浸透により、利用頻度が増加し、当サービスの売上高は、293,790千円（前年同期比5.7%増）となりました。

③その他サービス

その他サービスは、最先端の技術や手法を活用したリサーチサービスとなっております。具体的には、EyeTracking、Scanamind、MROC、Conventional サービスなどがありますが、当第2四半期連結累計期間においては、受注が伸び悩んだ結果、当サービスの売上高は、35,721千円（前年同期比54.5%減）となりました。

（「Scanamind」は、株式会社クリエイティブ・ブレインズの登録商標です（登録番号第5109952号）。）

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、1,992,164千円となり、前連結会計年度末に比べて20,627千円増加（1.0%増）いたしました。主たる変動要因は、売掛金の減少24,143千円、ソフトウェアの減少23,091千円、及び関係会社預け金の増加100,000千円等であります。

負債につきましては、755,861千円となり、前連結会計年度末に比べて66,367千円減少（8.1%減）いたしました。主たる変動要因は、未払金の減少15,037千円、未払法人税等の減少43,734千円、及び賞与引当金の減少26,212千円等であります。

純資産につきましては、1,236,302千円となり、前連結会計年度末に比べて86,995千円増加（7.6%増）いたしました。主たる変動要因は、当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益128,410千円による利益剰余金の増加及び配当金の支払による利益剰余金の減少38,885千円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期につきましては、概ね予想どおりに推移しており、平成29年2月3日に発表いたしました業績予想を変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	479,024	490,876
関係会社預け金	350,000	450,000
売掛金	551,071	526,927
仕掛品	41,595	37,639
繰延税金資産	91,735	84,008
その他	126,817	101,745
貸倒引当金	△13,022	△12,984
流動資産合計	1,627,220	1,678,212
固定資産		
有形固定資産	27,819	22,251
無形固定資産		
ソフトウェア	218,772	195,681
ソフトウェア仮勘定	6,428	5,091
無形固定資産合計	225,200	200,772
投資その他の資産	91,294	90,927
固定資産合計	344,315	313,951
資産合計	1,971,536	1,992,164
負債の部		
流動負債		
買掛金	165,269	165,005
未払金	140,568	125,530
未払法人税等	112,945	69,210
賞与引当金	30,059	3,846
ポイント引当金	201,088	209,274
その他	153,326	168,697
流動負債合計	803,258	741,565
固定負債		
資産除去債務	3,494	3,524
その他	15,477	10,771
固定負債合計	18,971	14,296
負債合計	822,229	755,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	299,034	299,034
資本剰余金	393,161	393,161
利益剰余金	466,724	556,249
自己株式	△4,619	△4,619
株主資本合計	1,154,301	1,243,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,815	3,660
為替換算調整勘定	△6,810	△11,183
その他の包括利益累計額合計	△4,994	△7,523
非支配株主持分	-	-
純資産合計	1,149,306	1,236,302
負債純資産合計	1,971,536	1,992,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,546,412	1,628,282
売上原価	804,458	803,207
売上総利益	741,953	825,075
販売費及び一般管理費	606,616	618,509
営業利益	135,336	206,566
営業外収益		
受取手数料	1,685	406
補助金収入	-	655
その他	914	720
営業外収益合計	2,599	1,782
営業外費用		
為替差損	28,475	10,700
その他	1,345	853
営業外費用合計	29,821	11,553
経常利益	108,115	196,794
税金等調整前四半期純利益	108,115	196,794
法人税、住民税及び事業税	63,662	61,010
法人税等調整額	△14,405	6,857
法人税等合計	49,256	67,867
四半期純利益	58,859	128,927
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,176	516
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,035	128,410

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	58,859	128,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,316	1,844
為替換算調整勘定	△12,846	△4,889
その他の包括利益合計	△15,162	△3,045
四半期包括利益	43,696	125,881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,696	125,881
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	108,115	196,794
減価償却費	69,780	51,832
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,499	△26,212
ポイント引当金の増減額(△は減少)	17,895	8,185
貸倒引当金の増減額(△は減少)	221	△37
受取利息及び受取配当金	△86	△311
支払利息	480	412
為替差損益(△は益)	2,753	2,159
売上債権の増減額(△は増加)	68,514	23,180
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,743	3,955
仕入債務の増減額(△は減少)	△48,087	432
未払金の増減額(△は減少)	5,879	△15,574
未払費用の増減額(△は減少)	17,985	11,947
その他	△37,038	26,044
小計	228,657	282,807
利息及び配当金の受取額	86	311
利息の支払額	△480	△412
法人税等の支払額	△9,424	△105,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	218,839	177,367
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△360	△306
無形固定資産の取得による支出	△14,159	△15,897
その他	△11,079	593
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,599	△15,611
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△7,474	△5,652
配当金の支払額	△36,170	△38,779
自己株式の処分による収入	2,924	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,721	△44,431
現金及び現金同等物に係る換算差額	△809	△5,471
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	151,708	111,852
現金及び現金同等物の期首残高	555,977	829,024
現金及び現金同等物の四半期末残高	707,686	940,876

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年3月19日 定時株主総会	普通株式	36,309	22.00	平成27年12月31日	平成28年3月22日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使に伴い、取締役会決議に基づき、自己株式4,300株、891千円処分いたしました。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年3月19日 定時株主総会	普通株式	38,885	23.50	平成28年12月31日	平成29年3月21日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

当社グループの報告セグメントは「インターネットリサーチ事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性は乏しいため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

当社グループの報告セグメントは「インターネットリサーチ事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性は乏しいため、記載を省略しております。